

芽立つ

シート

ガラス越しに

見て

知っていたはずなのに

つるつるしてヒヤヒヤした

窓を

開けてみると

温かい

風が柔らかい

知らない花のおい

なんでだろう

あなたと

一緒にいたい

百年の孤独を生きるあなたへ

全部愛するために

すべて捨てるんだ